

在宅高齢者の配食サービス利用状況に関する実態調査（概要）

1 調査目的

2025 年に向け高齢化がさらに進展することが予想され、独居の高齢者世帯や高齢者のみの世帯の増加、また首都圏をはじめとする都市部においては急速な後期高齢者人口の増加が予測されている。高齢者が、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最期まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービスのひとつとして、配食サービス事業があげられる。配食事業者は、民間企業、医療法人、社会福祉法人、社会福祉協議会、NPO やボランティア団体等、その事業主体も様々であり、配食利用者のニーズに合った配食が提供されているかは必ずしも明らかにされていない。平成 24 年老人保健事業推進費等補助金老人保健健康増進等事業－地域高齢者の食生活支援の質及び体制に関する調査研究事業－では、配食に対する利用者の要望は「特にない」が最も多いという結果であった。そうした背景を踏まえ、本調査は利用者のニーズを把握し、配食サービスのあり方を検討するための基礎資料を作成することを目的とする。なお、本調査については、本会が平成 28 年度管理栄養士専門分野別人材育成事業のうち在宅栄養分野における事業の一環として、日本在宅栄養管理学会の協力の下、実施したものである。

2 調査項目

- 配食の利用状況
 - (1) 利用するきっかけ
 - (2) 利用してからの身体の変化
 - (3) 配食サービスと自身の健康管理
 - (4) 感想
- 配食サービスの内容
 - (1) 利用期間
 - (2) 利用食種
 - (3) 栄養表示の活用
 - (4) 利用頻度
 - (5) 配送状況
 - (6) 配食された食事の摂取状況
 - (7) 選択基準
 - (8) 配食サービス業者との関わり
- 簡易栄養評価 MNA®

3 調査対象

兵庫県西宮市の自立高齢者 8 人

神奈川県横浜市、東京都稲城市のデイサービス利用高齢者 14 人

4 調査期間

平成 28 年 9 月から 10 月

5 調査方法

管理栄養士による面接聞き取り法を実施した。なお、対象者同士の意見を引き出し、質的検討を行うために、モデレーターが進行役を務め、フォーカスグループインタビュー形式を用いた。

6 倫理的配慮

調査対象者には、本調査の目的や意義、倫理的配慮について口頭および文書で説明し、同意書に署名をいただき同意を得た。調査参加は自由意志であり、調査協力の拒否と中止の自由が保障されていること、辞退することで不利益を被ることがないことについては十分に説明した。

7 結果

(1) 対象者背景

調査対象者は兵庫県西宮市の自立高齢者および神奈川県横浜市、東京都稲城市のデイサービス利用高齢者の 22 名のうち配食サービス試行期間中に中止した 2 人を除く 20 人（男性 6 人、女性 14 人）とした。平均年齢は、 80.4 ± 9.4 歳であった。80 歳代以上が 70%以上を占めており、高齢になるほど配食サービスの利用が高まることが伺えた。家族構成については、独居 14 名、同居 6 名となった。要介護度認定の状況は、要支援が一番多かった。現病歴として、糖尿病や高血圧がみられた（表 1）。

(2) 配食の利用目的

自ら希望して配食サービスを開始した者は 13 人であった。配食サービスの利用の主な開始目的は、調理が困難、買物が困難、（他人に）勧められたから、独居になったため等であった（表 2）。

(3) 配食サービス利用の現状について

配食サービスの価格は 600 円代が多く、夕食のみの 1 食を利用する者が多かった。なお、利用食種は全粥食・副菜が軟菜 1 人、糖尿病食 1 人、普通食 18 人となり、普通食の利用者が多かった。配食サービス利用の平均利用期間は 45 ヶ月であった。配食サービスは常温配送の利用者が最も多く、12 人であった。次に冷蔵 5 名、冷凍 2 名であった。配食された食事を使い慣れた食器に移し替えて食べている者は 6 人であり、常温 4 人、冷蔵 1 人、冷凍 1 人であった（表 3）。

配食サービスの情報は、親族、知人などからの情報が 10 人、広告 7 人、市の福祉課からの紹介 1 人、その他 1 人であった（表 4）。配食サービスを選んだ基準は、システムの利便性が意見として多くみられた。また、美味しさ以外にも安心して利用できるといった意見もみられた（表 5）。

また、配食サービスに飽きてきたと感じている者は9人であった。飽きたと感じる理由に、メニューや味付けがワンパターンであることが最も多い理由であった。その他に、食材の硬さに関する要望や配達員に対する要望もあった。食事を完食している者は10人であった(表6)。

配食サービス業者との会話をしている者は、11名であるが、安否確認や健康状態についての会話は行われているものの、配食サービス業者から食事の摂取量についての確認があると答えた者はなく、食事の摂取量に関する会話は行われていないことが伺えた(表7)。

(4) 健康管理について

配食サービスを利用してから、体調に変化のあった者は3人で、体調が良くなった、血圧コントロールが良好になったという報告が見受けられた。また、栄養成分表示を利用する者は4人であった(表8)。健康管理に役立っていると感じている者は、16人であり、体調の変化を感じることがなくても、自身の健康管理に有効であると感じている意見が多くみられた。健康管理に役立つと思う理由には、栄養管理ができていて、多様な食材を食べることが可能になる、調理や家事の負担軽減になっていると感じている意見が多くみられた。一方、健康管理に役立つと思わない意見としては、普段と何も変わらない、飽きてきたなどの意見がみられた。配食サービスに飽きたと感じている者の割合は、配食サービスの利用が健康管理に役立っていると思っていない者のほうが、配食サービスの利用が健康管理に役立っていると思っている者に比べ低い傾向にあった。(表9)。

(5) 配食サービス業者への要望について

配食サービス業者に工夫をお願いしたい点が「ある」か「なし」かについて、「ある」と答えた者は7人、「なし」と答えた者は13人であった。工夫をお願いしたい理由として、味付けや硬さ(軟らかさ)に関するものが多くみられた。また、メニュー表示に関する要望もみられた(表10)。

また、配食サービス業者に要望を伝えることがあるか否かについて、「はい」と答えた者は4人、「いいえ」と答えた者は16人であった。「いいえ」と答えた者のうち、伝えていない要望がある者は6人であった。このうち、配食サービスに工夫をお願いしたい点があると答えたものは2人、配食サービスに工夫をお願いしたい点はないと答えた者は4人であった。要望があるが諦めているという意見も見られた(表11)。フォーカスグループインタビューのなかで、配食の際に、はがきによる簡単なアンケートが入れられてあるが、アンケートに要望等を書いても、一度も業者からの問い合わせや要望に対する改善もなされていないため、諦めているとの意見もあった。また、自ら希望して配食サービスを開始した者では、自ら希望して配食サービスを開始していない者と比べて、配食業者に工夫をお願いしたいと答える者の割合が多かった(表12)。さらに栄養成分表示を見る者では、栄養成分表示を見ない者と比べて改善要望を配食業者に伝えていた(表13)。自らの食事や健康に対する意識が高い者ほど食事に対しての工夫や要望について意見を挙げる傾向がみられた。

(6) 配食サービス利用月数による年齢構成について

配食サービス利用月数の中央値は48か月で、48か月未満(76.9±8.6歳)、48か月以上の(84.5±9.1歳)で利用期間の違いにより年齢差がみられた。また、栄養状態をMNA-SFで評価した結果、48か月以上の利用者の栄養状態は、48か月未満の利用者に比べてやや低い傾向であった(表14)。

48 か月未満と 48 か月以上の利用者において「自分で何か工夫をしているのか」質問に対して、48 か月以上が工夫していると答えたのが 3 人、48 か月未満は 1 人であった。配食業者との「安否確認の有無」については、48 か月未満は「ある」が 1 人、「なし」が 3 人、未回答が 6 人に対し、48 か月以上では、「ある」が 6 人、「なし」が 2 人、未回答 3 人であった (表 15)。

8 考察

配食サービスは買い物困難の高齢者や食事準備ができない高齢者に対して、食事を提供するうえで有用であるが、利用者の食事摂取量の確認は行われていないなど、配食業者による配食サービス利用者の栄養管理に関する把握は不十分であることが示された。配食サービス利用者のうち、配食業者に工夫をお願いしたい点は「特になし」と回答した者は、半数にのぼった。また、配食業者に対して、改善要望はあるが改善要望を伝えていない配食サービス利用者も存在していた。このことから、利用者の配食サービス満足度を高めるためには、配食業者が利用者の改善要望を確認する等、配食業者と利用者のやりとりの必要性が示唆された。このほか、配食サービス利用者間で食事や健康に対する意識の差がみられ、配食サービスの利用が自らの健康管理に役立っていると思う者は、食事摂取量が多く、食事に対しての工夫や要望についての意見をあげる傾向がみられた。利用者の食事や健康に対する意識を高めるために、周囲の人を含めた情報提供や栄養教育を行い、利用者自らの健康管理に役立つ行動につなげることが重要であると考えられた。

配食サービスは高齢者にとって有用な食生活支援であるが、利用者の食事摂取量や栄養状態について把握されていない現状がみられた。このことから、管理栄養士・栄養士が利用者に積極的に関わり、個人に合わせた食事を提供することや、利用者の食事や健康に対する意識を高めるために、周囲の人を含めた情報提供や栄養教育を行うことが重要であると考えられた。本調査は、少人数における調査であるため、配食サービスの質の向上につなげていくためには、利用者に応じた食事の提供について、今後更なる検討が必要である。

参考文献

・厚生労働省, 平成 24 年老人保健事業推進費等補助金 老人保健健康増進等事業 ー地域高齢者の食生活支援の質及び体制に関する調査研究事業ー

<http://www0.nih.go.jp/eiken/assets/images/rojin24houkoku.pdf>

結果（表）

表1 対象者背景

項目	カテゴリー	人	%	項目	カテゴリー	人	%	
デイサービス利用	あり	6	30.0	介護度	要支援1	5	25.0	
	なし	14	70.0		要支援2	3	15.0	
性別	男性	6	30.0		要介護1	3	15.0	
	女性	14	70.0		介護度1	2	10.0	
年齢	平均	80.4±4.9歳			要介護3	1	5.0	
	60代	3	15.0		介護度1・障害1級	1	5.0	
	70代	3	15.0		介護度2	1	5.0	
	80代	12	60.0		介護度5	1	5.0	
	90代	2	10.0		要支援	1	5.0	
家族構成	独居	14	70.0		みなし	1	5.0	
	夫	2	10.0		なし	1	5.0	
	長女	1	5.0		現病歴	あり	3	15.0
	息子	1	5.0			なし	16	80.0
	息子家族	1	5.0	無回答		1	5.0	
	次男	1	5.0	配食サービス利用	1食	14	70.0	
			2食		4	20.0		
			3食		2	10.0		

表2 配食サービス利用のきっかけおよび利用開始目的

質問項目	カテゴリー	人	%
配食サービスを自ら希望した利用者における利用目的	調理が困難	4	23.1
	買物が困難	1	7.1
	買物が困難、調理が困難	4	23.1
	食事準備が楽になる、品数が多く食べられる	1	7.7
	自分で調理すると材料が余る	1	7.7
	独居になったため	2	15.4
	必要であったため	2	15.4
	他人から配食サービスを勧められた利用者における利用目的	調理が困難	1
買物が困難、栄養面安心		1	14.3
家事負担の軽減		1	14.3
勧められたから		2	28.6
夫が利用		1	14.3
ヘルパー利用		1	14.3

表3 配食サービスの現状

質問項目	カテゴリー	人	%	質問項目	カテゴリー	人	%
配食サービスの価格	400円～	2	10.0	配食サービスの利用期間はどのくらいですか	2年未満	2	10.0
	500円～	3	15.0		2年以上4年未満	8	40.0
	600円～	13	65.0		4年以上6年未満	6	30.0
	700円～	0	0.0		6年以上	4	20.0
	800円～	2	10.0		配送される時間は決まっていますか	はい	19
配食サービスの利用食数は何食ですか	1食	16	80.0		いいえ	1	5.0
	2食	4	20.0	食事は常温、冷蔵、冷凍のいずれで配達されますか	常温	12	60.0
どの食事を利用していますか	夕食のみ	13	65.0		冷蔵	5	25.0
	昼食のみ	2	10.0		冷凍	2	10.0
	昼食または夕食	1	5.0		常温（昼）・冷蔵（夜）	1	5.0
	昼食と夕食	3	15.0		使い慣れた食器に移し替えますか	はい	6
	朝食と夕食	1	5.0		いいえ	13	65.0
利用している食種は何ですか	普通食	18	90.0				
	糖尿病食	1	5.0				
	粥食	1	5.0				

表4 配食サービスの情報入手方法

質問項目	カテゴリー	人	%
配食サービスの情報はどこから得ましたか	広告	7	35.0
	親族からの紹介	5	25.0
	知人からの紹介	5	25.0
	市の福祉課からの紹介	1	5.0
	その他	1	5.0
	無回答	1	5.0

表5 配食サービスの選択基準

質問項目	カテゴリー	人	%
配食サービスを選んだ基準は何ですか (複数回答可)	利用システム(配達方法、注文方法、支払い方法)	10	37.0
	美味しさ	5	18.5
	値段	3	11.1
	安心・安全	3	11.1
	紹介	2	7.4
	食の安全性・衛生	1	3.7
	その他	3	11.1

表6 利用者の嗜好

質問項目	カテゴリー	人	%
配食サービスに飽きたと感じることはありますか	はい	9	45.0
	いいえ	11	55.0
配食サービスに飽きた人の理由 (複数回答可)	同じメニューが続く	4	36.3
	味付けが同じ	2	18.2
	薄味にしてほしい	1	9.1
	フライがかたい	1	9.1
	鶏の胸肉がかたい	1	9.1
	材料が嫌い	1	9.1
	配食員とのコミュニケーションが悪い	1	9.1
	食事を全て食べていますか	はい	10
いいえ		9	47.4

表7 利用者と配食業者とのやりとり

質問項目	カテゴリー	人	%
配食業者との会話はありますか	はい	11	55.0
	いいえ	9	45.0
安否確認のみの会話ですか	はい	7	63.6
	いいえ	3	27.3
	無回答	1	9.1
健康状態は聞かれますか	はい	5	45.5
	いいえ	6	54.5
栄養相談をすることはありますか	いいえ	11	100.0
食事摂取量の確認はありますか	いいえ	19	95.0
	無回答	1	5.0

表8 利用者の健康管理の意識

質問項目	カテゴリー	人	%
配食サービスは自らの健康管理に役立っていると感じますか	はい	16	80.0
	いいえ	4	20.0
健康管理に役立っていると思う理由	栄養管理できている	3	20.0
	栄養管理できている、美味しい	1	5.0
	栄養管理できている、話ができる	1	5.0
	栄養バランスが良い	2	10.0
	多様な食材が食べられる	2	10.0
	色々な料理が食べられる	2	10.0
	食事時間が整う	1	5.0
	手間がかからない	1	5.0
健康管理に役立たないと思う理由	いつもと変わらない	3	66.7
	飽きてきた	1	33.3
体の状態に何か変化はありましたか	はい	3	15.0
	いいえ	17	85.0
栄養成分表示を見ることはありますか	はい	4	20.0
	いいえ	16	80.0

表9 利用者の健康管理の意識の違い

質問項目	カテゴリー	配食サービス利用が 健康管理に役立っていると 思っている		配食サービス利用が 健康管理に役立っていると 思っていない	
		人	%	人	%
配食サービスに飽きたと感じることはありますか	はい	6	37.5	3	75.0
	いいえ	10	62.5	1	25.0
食事を全て食べていますか	はい	10	62.5	1	25.0
	いいえ	6	37.5	3	75.0

表 10 利用者と配食業者に対する工夫点

質問項目	カテゴリー	人	%
配達業者へ工夫をお願いしたい点がありますか	はい	7	35.0
	いいえ	13	65.0
配達業者へ工夫をお願いしたい点 (複数回答可)	味付け	2	18.2
	魚が生臭く感じることもある	1	9.1
	ご飯の量を増やしてほしい	1	9.1
	量が調節できたらいい	1	9.1
	葉物が軟らかすぎる。	1	9.1
	野菜などの軟らかさを均等してほしい	1	9.1
	食べやすいサイズにしてほしい	1	9.1
	えのきがかたい	1	9.1
	おかずだけの糖尿病食をつくってほしい	1	9.1
	メニュー表示の改善	1	9.1

表 11 利用者の配食業者に対する改善要望

質問項目	カテゴリー	人	%
配食業者に改善要望は伝えることはありますか	はい	4	20.0
	いいえ	16	80.0
配食業者に伝えてはいるが要望はありますか	はい	6	37.5
	いいえ	7	43.8
	無回答	3	18.7
配食業者に伝えている改善要望	葉物が軟らかすぎる	1	25.0
	えのきがかたい	1	25.0
	味をもっと薄く	1	25.0
	肉・魚は嫌なので野菜中心にしてほしい	1	25.0
配食業者に伝えていない改善要望 (複数回答可)	メニューについて	1	16.7
	味付け	1	16.7
	ご飯の量を増やしてほしい	1	16.7
	栄養士と話したい	1	16.7
	支払い方法の改善	1	16.7
	要望はあるが諦めている	1	16.7

表 12 配食業者に工夫をお願いしたい点について

質問項目	カテゴリー	自ら希望して 配食サービスを 開始した人		自ら希望して 配食サービスを 開始していない人	
		人	%	人	%
配食業者へ工夫をお願いしたい点がありますか	はい	6	46.2	1	14.3
	いいえ	7	53.8	6	85.7

表 13 配食業者への改善要望

質問項目	カテゴリー	栄養成分表示を 見る		栄養成分表示を 見ない	
		人	%	人	%
		配食業者に改善要望を伝えることはありますか	はい	4	100.0
	いいえ	0	0.0	16	100.0

表 14 利用月数分類による年齢、身体状況および栄養状態

	48か月以上	人	48か月未満	人	p
年齢 (歳)	84.5±9.1	11	76.9±8.6	10	<0.05 *
ふくらはぎ周囲長 (cm)	31.9±3.5	9	34.5±3.2	5	0.209
握力 (kg)	17.1±6.8	9	19.0±5.6	5	0.599
MNA (点)	10.2±1.7	9	11.6±1.5	5	0.161

* χ^2 検定
p<0.05

表 15 配食サービス利用月数による工夫および安否確認の有無

質問項目	カテゴリー	48か月以上			48か月未満		
		人	%	p	人	%	p
自分で何か工夫しているか	工夫していない	0	0.0%	n.s. *	4	40.0%	n.s. *
	工夫した	3	27.3%	n.s.	1	10.0%	n.s.
	未回答	8	72.7%	n.s.	5	50.0%	n.s.
配食業者と安否確認の会話をするか	会話あり	6	54.5%	n.s.	1	10.0%	n.s.
	会話なし	2	18.2%	n.s.	3	30.0%	n.s.
	未回答	3	27.3%	n.s.	6	60.0%	n.s.

* χ^2 検定